後記

寺崎修先生は、平成二十年三月をもって本塾法学部を退職された。平成九年四月に駒澤大学法学部から本塾法学部教授に就任されて以降、十一年間にわたって、日本政治思想史および日本政治運動史に関する研究・教育に尽力された。この間、慶應義塾は福沢諭吉の歿後百年、そして創立百五十年を迎え、先生はご専門の自由民権運動研究を通して蓄積された知見をいかなく発揮されて、福沢・塾史研究にも従事してこられた。いま、我々は『福沢諭吉書簡集』や『福沢諭吉著作集』といった書物を通して、その成果を享受している。

こうした先生の学恩に感謝の意を表すべく、法学部の専任教員、および他大学の研究者が集い、本論文集を編むこととなった。本来ならばご退職にあわせて刊行すべきところ、一年遅れる形で謹呈することになったことをお詫び申し上げますとともに、ご多忙中寄稿いただいた皆様により御礼申し上げる次第である。

執筆陣には、法学部の専任教員のほか、先生とともに研究の道を歩んでこられた方々、また、寺崎先生のご指導を仰いで研究者の道に入った若手や、笠原英彦教授、玉井清教授の指導下で成長してきた研究者が名を連ねている。先生は十一年の在籍期間中、熱心に後進の育成に取り組み、いまやその薫陶を受けた研究者が塾内から他大学まで、幅広く活躍の場を得ている。私自身、先生より頂戴したあたたく熱心なご指導に対し、ただただ感謝申し上げるほかない。

寺崎先生は現在、武蔵野大学長として、教育・研究から大学行政へと、その活躍の場を広げておられる。共学化や薬学部・看護学部・政治経済研究所の開設など、近年における同大学の発展はまことに目覚ましく、先生の類い希な手腕によって、ますますその評価を高めていくにちがいない。寺崎先生の今後のご活躍とご健康を心より願いながら、本論文集を謹呈する次第である。

平成二十一年二月

法学部准教授 小川原正道